



YODOYA

パラソル

ヨージ・コンドー

会期：2015年4月28日 - 5月10日

オープニング・パーティー：4月28日 19:00-21:00

会場：ギャラリー知



このたびYODOYAは、ヨージ・コンドーの個展『パラソル』をギャラリー知にて開催いたします。今回上映する『パラソル』は、ヨージ・コンドーの初短編映画であり、顔を失ったすべての人へ贈るラブストーリーです。全宇宙の5%を占めると言われるマターの中で、これまで人は、もっともよく見ているもののひとつである顔という部分に多くの意味と謎を見出してきました。モナリザ(レオナルド・ダ・ビンチ)、無頭人(パタイコ)、顔(レヴィナス)、カオナシ(宮崎駿)など、顔に関する喪失や他者といったテーマはすでに、多くの取り組みが行われています。監視システムの発達、行き過ぎた個人主義による孤独の連鎖、あるいは意味の飽和や欠如などにより、私たちが生きる現代社会は、素直な気持ちを抱くことや、それを表に出すことがますます難しくなっています。そのような生活世界において、誰にも見せていない顔、あるいは誰も知らない顔を持つ人は、決して少なくはないでしょう。本作の男女もまた、表情を失っています。しかし、バラバラだった二人の前にミスター・パラソルが現れることで、状況は一変します。パラソルがつなげるパラレルストーリー。ぜひお楽しみください。

ヨージ・コンドー(2013年- YAP)はフィルターに関心があります。それは、ある媒体を介さなければ人とコミュニケーションができないという自身の資質に起因しています。10代まで日本に住んでいたヨージ・コンドーは学生時代、その違和感を隠しませんでした。高校時代の修学旅行先でビデオカメラを手放せず、モニター越しでなければクラスメイトたちと接することができないという映像においてもそれは顕在化されています(2013年の『YAP 21』では、その映像を含む4作品が展示されました)。今回発表される『PARASOL』では、別々の二人をつなげるフィルターとして、パラソルが採用されています(paraは乖離を、solは太陽を意味するパラソルは、太陽の光を防ぐための日傘を意味します)。

ギャラリー知

火曜-日曜 (12:00-19:00)

〒604-0995京都市中京区寺町通丸太町東南角下御霊前町633青山ビル1F

TEL : 075-585-4160 MAIL : info@gallery-tomo.com HP : www.gallery-tomo.com